

2025年11月8日

真実に目を向ける：未来への選択を、二本松市から考える

処理汚染水の海洋放出の問題点

何がどれだけ放出されたのか？

政府・東電の「切り取り方」は妥当か？

置き去りにされた数々の疑問

1. トリチウム以外にも多くの放射性物質
2. 放出総量は？
3. 代替案は？
4. 海洋放出のコストは？
5. 「関係者の理解」は？
6. 「廃炉のため」「復興のため」？

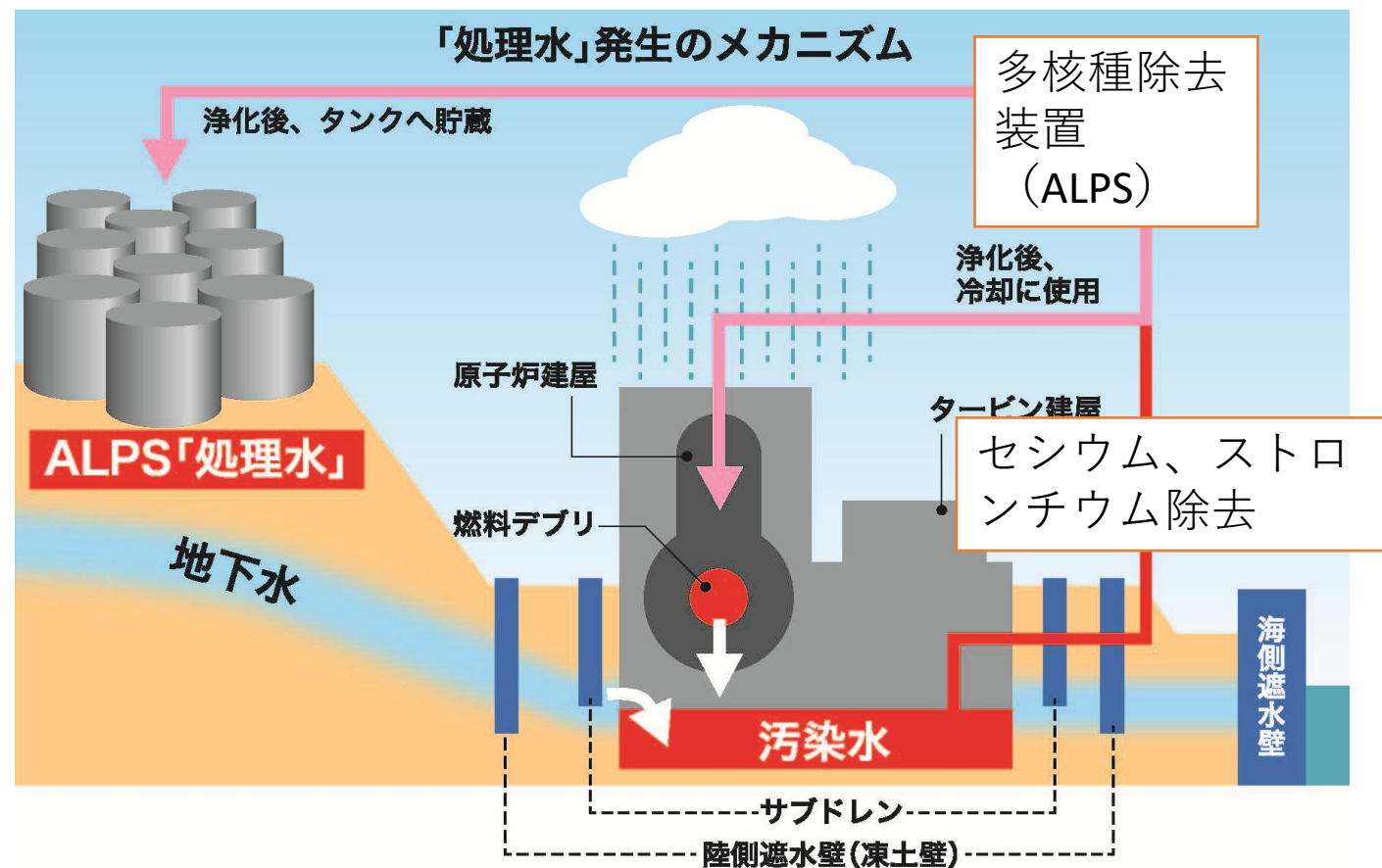
...

「処理水」？ 「汚染水」？

ALPS処理汚染水

「処理」されているけど、
まだ放射性物質を含んだ
水

放射性物質を含んだ廃液
(液体放射性廃棄物)



タンクの中の水には何が含まれているか？

- 処理汚染水**約127万m³**（2025年10月時点）
← **約134万m³**（2023年8月時点）から7万m³ほど減少
- **約700兆ベクレルのトリチウム**（2023年3月時点）
原発事故前に福島第一原発から海に流されていたトリチウムの**約350年分**

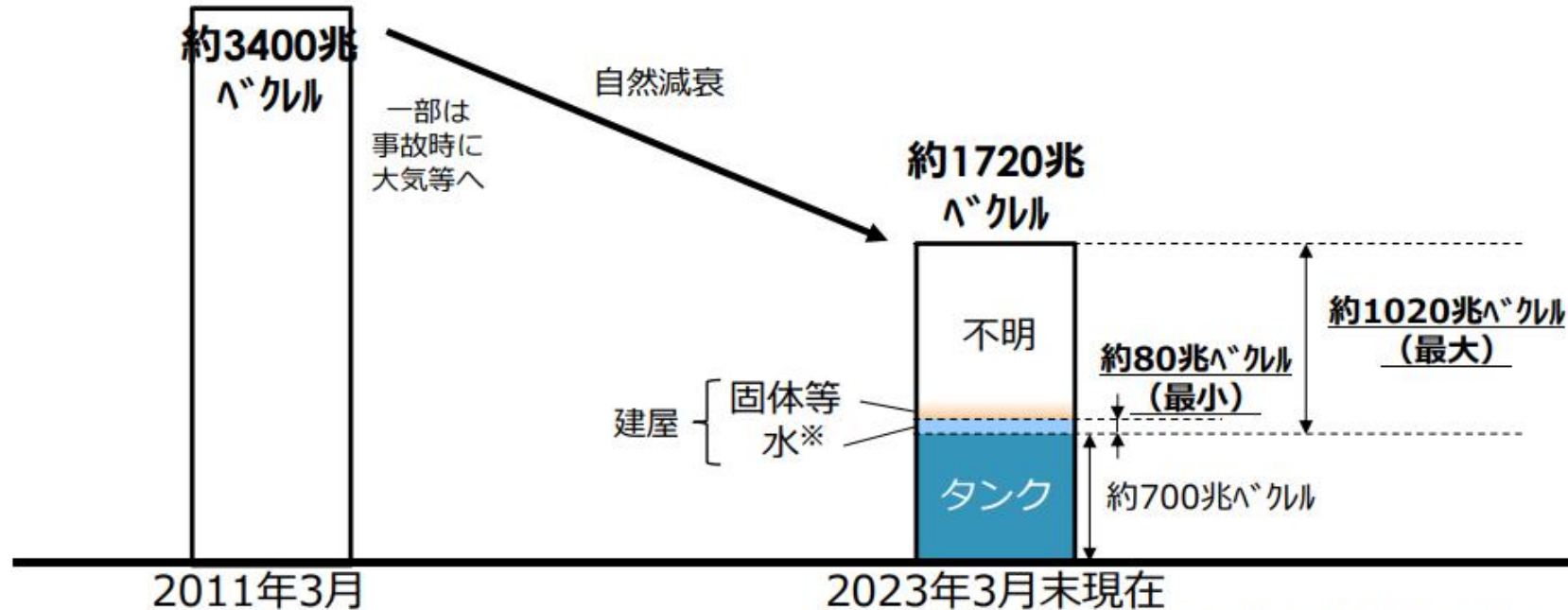
トリチウム以外の放射性物質が基準を超えて残留。
6割以上の水で基準を超えている



2018年、メディアの報道を通じて、明らかになった。

【参考】 福島第一原子力発電所内のトリチウム総量

- 原子力発電所では運転中にトリチウムが発生するが、福島第一原子力発電所では事故により運転が停止していることから、**2011年3月以降新たなトリチウムの発生はない。**
- そのため、2011年3月時点のトリチウム総量約3400兆ベクレルが最大であり、自然減衰により**2022年度末時点では約1720兆ベクレル**となっている。
- 2023年2月に1号機原子炉建屋内線量低減作業の一環で、1号機RCW熱交換器内にトリチウム濃度 2940万ベクレル/ℓの水が確認されているが、熱交換器内約20m³に含まれるトリチウム量は約0.6兆ベクレルであり、タンクに貯蔵しているトリチウム量にくらべて非常に少ない。なお、これに加えて、2/3号機分および不確実性を考慮しても、数兆ベクレルであり、10兆ベクレルは超えないものと想定している。



※：RCW熱交換器内のトリチウム量を含む

ALPS処理水等の放射能濃度

トリチウム以外の

告示濃度比総和別(推定)貯蔵量

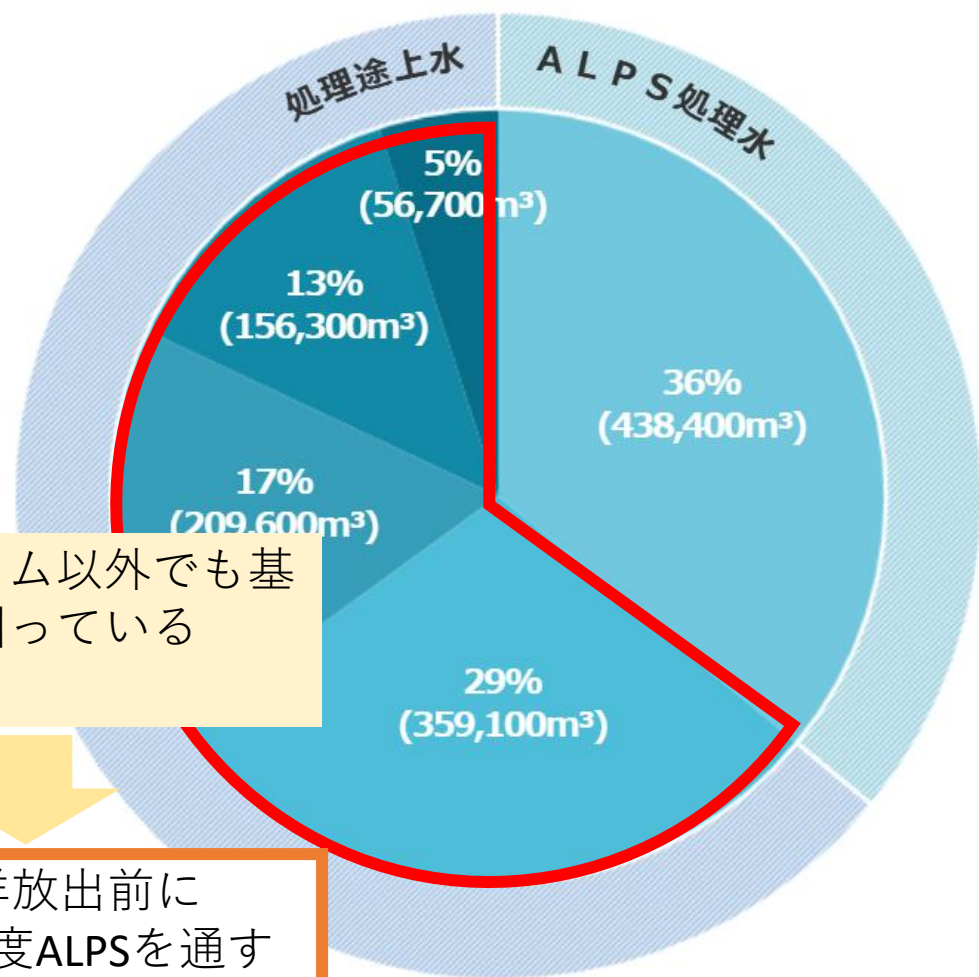


再利用タンク(処理途上水)

96,600m³

※割合は小数点以下四捨五入のため割合の和が100以下になる場合があります

※再利用タンクの貯蔵量内訳・告示濃度比総和評価値は「再利用タンク貯蔵量等を詳しくみる」からご覧になれます



トリチウム以外でも基準を上回っている
(64%)

海洋放出前にもう一度ALPSを通す

(2024年3月31日現在)

*満水タンク(再利用タンク含む)のみカウントした貯蔵量で、全体貯蔵量とは差があります

東電処理水ポータルサイト

[ALPS処理水等の状況 | 東京電力 \(tepco.co.jp\)](https://www.tepco.co.jp/alps/)

2. タンク群毎の放射能濃度実測値（再利用タンクを除く）

J1エリア

グループ	核種毎の放射能濃度												告示濃度比 総和 (主要7核種 ^{※1}) [-]	告示濃度比 総和 (主要7核種 ^{※1} +C-14 +Tc-99) [-]
	セシウム (Cs)-137 告示濃度限度 9.00E+01 [Bq/L]	セシウム (Cs)-134 告示濃度限度 6.00E+01 [Bq/L]	コバルト (Co)-60 告示濃度限度 2.00E+02 [Bq/L]	アンチモン (Sb)-125 告示濃度限度 8.00E+02 [Bq/L]	ルテチウム (Lu)-106 告示濃度限度 1.00E+02 [Bq/L]	ストロンチウム (Sr)-90 告示濃度限度 3.00E+01 [Bq/L]	ヨウ素 (I)-129 告示濃度限度 9.00E+00 [Bq/L]	トリウム (H)-3 告示濃度限度 6.00E+04 [Bq/L]	カーボン (C)-14 告示濃度限度 2.00E+03 [Bq/L]	テクネチウム (Tc)-99 告示濃度限度 1.00E+03 [Bq/L]	全α-タ(β) [Bq/L]	全γ(α) [Bq/L]		
A1	8.13E+01	6.67E+00	4.83E+01	2.98E+01	1.02E+01	3.05E+04	6.66E+00	3.48E+05	—	—	6.72E+04	—	1017.80	—
C1	8.29E+02	6.80E+01	4.97E+01	1.65E+02	4.81E+01	1.13E+05	2.89E+01	1.13E+06	—	—	2.21E+05	—	3791.16	—
D1	<7.39E-01	<9.23E-01	6.44E-01	2.71E+01	1.58E+02	4.33E+05	3.47E+01	7.10E+05	—	—	9.54E+05	—	14442.15	—
E1	2.08E-01	<2.62E-01	6.30E-01	8.74E+01	<1.08E+00	3.17E+01	1.78E+01	4.25E+05	—	—	1.93E+02	—	3.17	—
E1 ^{※3}	<1.24E-01	<2.73E-01	1.91E-01	<4.45E-01	<1.12E+00	5.61E+00	7.73E-02	4.76E+05	3.96E+01	<5.78E-01	2.68E+01	<5.55E-02	0.21	0.23
E2	<1.32E-01	<1.49E-01	2.69E-01	5.64E-01	<1.04E+00	7.72E-01	1.62E-01	4.29E+05	6.17E+01	<4.04E-01	1.83E+01	<7.50E-02	0.06	0.09
E3	1.05E-01	<1.23E-01	1.57E-01	<4.66E-01	<1.27E+00	9.24E-01	2.74E-01	3.98E+05	7.36E+01	<4.04E-01	1.90E+01	<7.50E-02	0.08	0.12
E4	1.94E-01	<1.65E-01	2.18E-01	<4.12E-01	<1.31E+00	1.35E+00	5.27E-01	4.06E+05	7.54E+01	<4.04E-01	2.46E+01	<7.50E-02	0.12	0.16
E5 ^{※3}	3.08E-01	<2.50E-01	3.84E-01	<3.88E-01	<9.21E-01	3.04E+00	6.10E-01	4.07E+05	7.76E+01	<5.78E-01	2.64E+01	<5.55E-02	0.19	0.23
E6	1.31E-01	<1.41E-01	2.86E-01	5.52E-01	<1.18E+00	3.42E+00	4.34E-01	4.10E+05	7.25E+01	<4.04E-01	3.11E+01	<7.50E-02	0.18	0.22
E7	1.40E-01	<1.66E-01	2.12E-01	<4.22E-01	<9.89E-01	1.19E+00	3.01E-01	4.22E+05	6.95E+01	<4.04E-01	2.96E+01	<7.50E-02	0.09	0.12
E8	<1.39E-01	<1.33E-01	<1.65E-01	4.20E-01	<1.17E+00	1.08E+00	1.35E-01	4.27E+05	6.02E+01	<4.04E-01	2.07E+01	<7.50E-02	0.07	0.10
F1	1.05E-01	<2.63E-01	5.03E-01	8.01E+01	<8.93E-01	3.43E+02	2.57E+01	4.75E+05	—	—	9.95E+02	—	14.41	—
G1	6.09E+01	5.25E+00	4.13E+01	4.89E+01	1.85E+00	4.55E+03	1.20E+00	2.57E+05	—	—	1.35E+04	—	152.98	—
H1	6.46E-01	<1.10E-01	9.06E-02	8.68E+00	<8.87E-01	4.11E-01	2.80E+01	7.47E+05	—	—	2.77E+01	—	3.15	—
K4	9.64E-01	<5.16E-01	5.09E-01	4.08E+01	4.13E+01	8.94E+04	1.95E+00	1.62E+06	—	—	1.71E+05	—	2981.37	—
L1	3.30E-01	<1.69E-01	7.63E-01	2.39E+01	<9.22E-01	2.53E+00	1.21E+01	3.94E+05	—	—	6.20E+01	—	1.48	—
M1	2.72E-01	<2.93E-01	8.49E-01	1.05E+02	<9.46E-01	1.76E+01	1.38E+01	3.92E+05	—	—	1.82E+02	—	2.27	—
N1	1.15E+00	1.07E-01	6.71E-01	2.20E-01	<8.05E-01	2.50E-01	1.96E+00	2.86E+05	—	—	7.65E+00	—	0.25	—
N1 ^{※2}	1.32E+00	<1.29E-01	4.29E-01	<4.48E-01	<1.30E+00	2.04E+00	2.16E+00	2.59E+05	1.45E+01	<1.23E+00	1.25E+01	<6.28E-02	0.34	0.35

2. タンク群毎の放射能濃度実測値（再利用タンクを除く）



K4エリア

グループ	核種毎の放射能濃度												告示濃度比 総和 (主要7核種 ^{※1}) [-]	告示濃度比 総和 (主要7核種 ^{※1} + C-14 + Tc-99) [-]
	セシウム (Cs)-137	セシウム (Cs)-134	コバルト (Co)-60	アンチモン (Sb)-125	ルテチウム (Lu)-106	ストロンチウム (Sr)-90	ヨウ素 (I)-129	トリウム (Th)-232	カリウム (K)-40	テクネチウム (Tc)-99	全α-β	全γ		
	告示濃度限度 9.00E+01 [Bq/L]	告示濃度限度 6.00E+01 [Bq/L]	告示濃度限度 2.00E+02 [Bq/L]	告示濃度限度 8.00E+02 [Bq/L]	告示濃度限度 1.00E+02 [Bq/L]	告示濃度限度 3.00E+01 [Bq/L]	告示濃度限度 9.00E+00 [Bq/L]	告示濃度限度 6.00E+04 [Bq/L]	告示濃度限度 2.00E+03 [Bq/L]	告示濃度限度 1.00E+03 [Bq/L]	[Bq/L]	[Bq/L]		
A1 平均 ^{※2}	1.16E-01	9.25E-02	4.76E-01	3.28E-01	8.11E-01	6.87E-02	4.50E-01	1.54E+05	—	—	7.44E+00	—	0.07	—
A1上段	7.37E-02	<9.32E-02	4.68E-01	3.49E-01	<7.95E-01	<6.41E-02	4.42E-01	1.54E+05	—	—	7.82E+00	—	0.06	—
A1中段	8.37E-02	<8.53E-02	5.31E-01	2.24E-01	<8.11E-01	<7.38E-02	4.56E-01	1.54E+05	—	—	6.69E+00	—	0.07	—
A1下段	1.92E-01	<9.90E-02	4.30E-01	4.12E-01	<8.28E-01	<6.83E-02	4.52E-01	1.55E+05	—	—	7.82E+00	—	0.07	—
A1 ^{※3}	1.61E-01	<1.32E-01	2.85E-01	<3.70E-01	<1.16E+00	6.30E+00	4.89E-01	1.31E+05	1.44E+01	<1.02E+00	7.44E+00	<5.36E-02	0.28	0.29
A2	<1.41E-01	<2.81E-01	4.11E-01	<4.23E-01	<1.31E+00	<4.09E-01	1.20E+00	1.35E+05	1.14E+01	<2.50E-01	7.85E+00	<5.36E-02	0.17	0.18
A3	2.52E-01	<1.52E-01	5.05E-01	<4.69E-01	<1.16E+00	<4.42E-01	1.40E+00	1.45E+05	1.19E+01	<2.50E-01	6.51E+00	<5.36E-02	0.19	0.20
A4	5.80E-01	<1.29E-01	4.39E-01	<4.92E-01	<1.37E+00	<4.19E-01	2.56E+00	1.47E+05	8.97E+00	<2.50E-01	6.36E+00	<6.89E-02	0.32	0.33
A5	5.42E-01	<1.54E-01	3.22E-01	<4.11E-01	<1.29E+00	<4.07E-01	2.17E+00	1.48E+05	9.20E+00	<2.50E-01	<6.36E+00	<6.89E-02	0.28	0.28
A6 平均 ^{※2}	6.60E-01	1.18E-01	6.54E-01	3.71E-01	8.31E-01	7.75E-02	2.59E+00	1.90E+05	—	—	8.57E+00	—	0.31	—
A6上段	6.35E-01	1.03E-01	6.70E-01	3.02E-01	<8.55E-01	<7.45E-02	2.60E+00	1.90E+05	—	—	8.00E+00	—	0.31	—
A6中段	6.52E-01	1.11E-01	6.33E-01	4.39E-01	<8.47E-01	<7.92E-02	2.64E+00	1.92E+05	—	—	9.13E+00	—	0.32	—
A6下段	6.94E-01	1.40E-01	6.60E-01	3.73E-01	<7.91E-01	<7.88E-02	2.54E+00	1.89E+05	—	—	8.57E+00	—	0.31	—
A6 ^{※3}	7.98E-01	<1.32E-01	3.87E-01	<4.13E-01	<1.06E+00	<4.54E-01	2.32E+00	1.53E+05	1.56E+01	<2.50E-01	8.97E+00	<6.79E-02	0.30	0.30

2. タンク群毎の放射能濃度実測値（再利用タンクを除く）



K4エリア※

※ 本エリアについては、貯留水の放出に伴い掲載を終了致します

東電処理水ポータルサイト 2025年11月アクセス

<https://www.tepco.co.jp/decommission/progress/watertreatment/images/tankarea.pdf>

ALPS処理水 海洋放出の状況

① ALPS処理水等の状況

[詳しくはこちら](#)

② 測定・確認用設備の状況

[詳しくはこちら](#)

③ 希釈・放水設備の状況

[詳しくはこちら](#)

8月6日現在 海洋放出停止中

[放出実績はこちら](#)

④ 海域モニタリングの結果

[詳しくはこちら](#)

8月6日現在 有意な変動なし

累計処理水放出量

31,506 m³

2023年8月24日の放出開始からの
累計処理水放出量 117,650 m³



累計放出トリチウム総量

約 9.6 兆ベクレル

2023年8月24日の放出開始からの
累計放出トリチウム総量 約26.8兆ベクレル
年間放出基準 トリチウム総量22兆ベクレル



3-3. 測定・評価対象核種の変更

- 測定・評価対象核種からセリウム144を除外することにより、「測定・評価対象核種」は29核種、「ALPS除去対象核種のうち測定・評価対象核種に該当しないが、自主的に測定する核種」は39核種になります。
- なお、セリウム144は、測定・評価対象核種からの除外後も引き続き、海洋放出前に自主的に測定し、検出限界値未満であることを確認してまいります。

毎 回 測 定

測定・評価対象核種：~~30~~29核種

C-14 炭素	Sr-90 ストロンチウム	Te-125m テルル	Sm-151 サマリウム	Pu-238 プルトニウム
Mn-54 マンガン	Y-90 イットリウム	I-129 ヨウ素	Eu-154 ユウロピウム	Pu-239 プルトニウム
Fe-55 鉄	Tc-99 テクネチウム	Cs-134 セシウム	Eu-155 ユウロピウム	Pu-240 プルトニウム
Co-60 コバルト	Ru-106 ルテニウム	Cs-137 セシウム	U-234 ウラン	Pu-241 プルトニウム
Ni-63 ニッケル	Cd-113m カドミウム	Ce-144 セリウム	U-238 ウラン	Am-241 アメリシウム
Se-79 セレン	Sb-125 アンチモン	Pm-147 プロメチウム	Np-237 ネプツニウム	Cm-244 キュリウム

告示濃度限度比総和として評価し、1未満であることを確認

H-3
トリチウム

希釈後のトリチウム濃度が1,500ベクレル/ℓ未満となる希釈倍率を設定するために測定

ALPS除去対象核種のうち測定・評価対象核種に該当しないが、自主的に測定する核種：~~30~~39核種

Fe-59 鉄	Rh-103m ロジウム	Te-123m テルル	Ba-140 バリウム	Eu-152 ユウロピウム
Co-58 コバルト	Rh-106 ロジウム	Te-127 テルル	Ce-141 セリウム	Gd-153 ガドリニウム
Zn-65 亜鉛	Ag-110m 銀	Te-127m テルル	Ce-144 セリウム	Tb-160 テルビウム
Rb-86 ルビジウム	Cd-115m カドミウム	Te-129 テルル	Pr-144 プラセオジウム	Am-242m アメリシウム
Sr-89 ストロンチウム	Sn-119m スズ	Te-129m テルル	Pr-144m プラセオジウム	Am-243 アメリシウム
Y-91 イットリウム	Sn-123 スズ	Cs-135 セシウム	Pm-146 プロメチウム	Cm-242 キュリウム
Nb-95 ニオブ	Sn-126 スズ	Cs-136 セシウム	Pm-148 プロメチウム	Cm-243 キュリウム
Ru-103 ルテニウム	Sb-124 アンチモン	Ba-137m バリウム	Pm-148m プロメチウム	

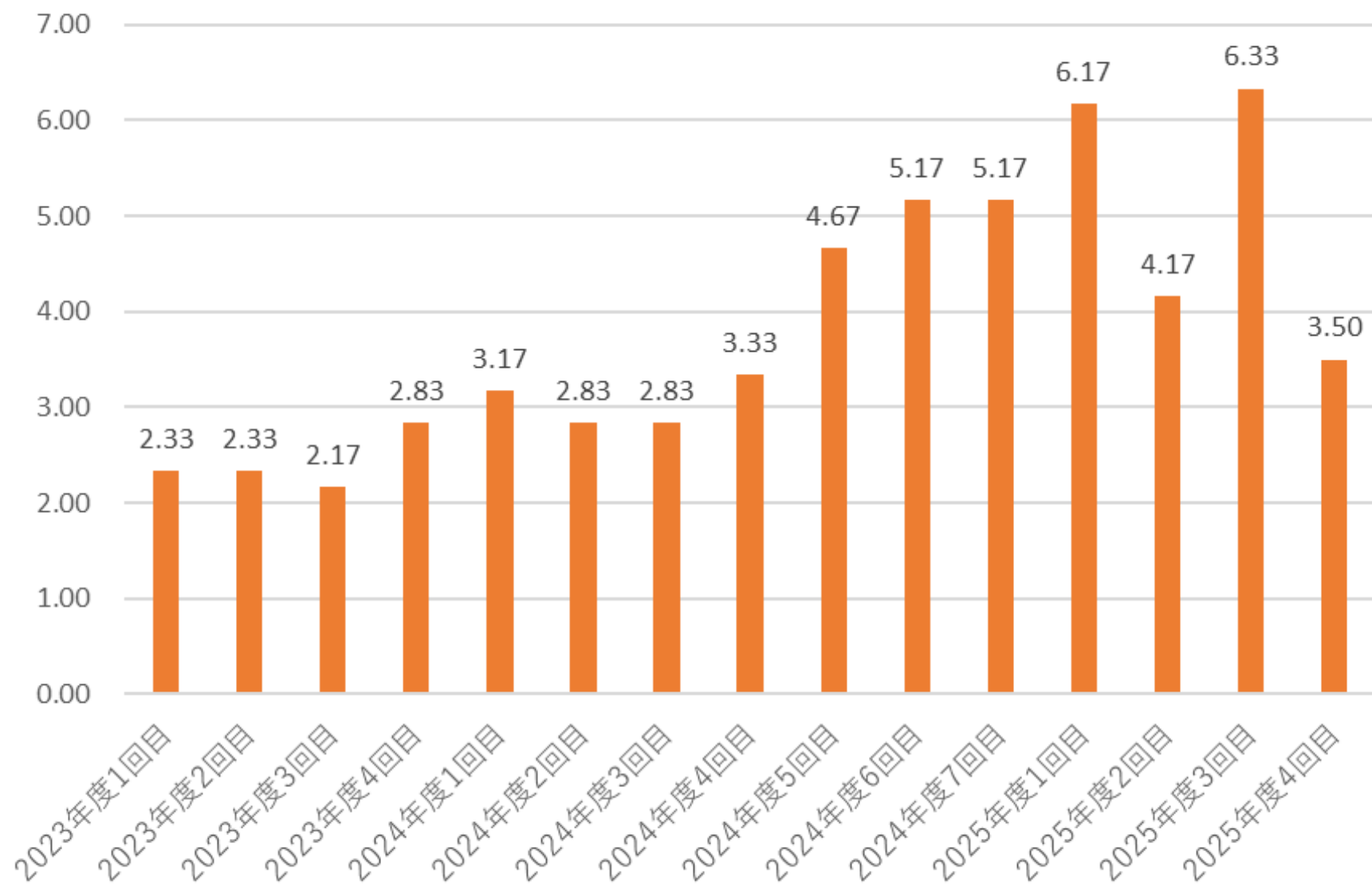
自主的に測定し、検出限界値未満であることを確認

累積的な放出量（2023.8.24-2025.10.14、計15回の放出の累計）

- 処理汚染水：117,650m³（希釈前）
- トリチウム：約26.8兆ベクレル
- ストロンチウム90：約63,593万ベクレル
- テクネチウム99：約8,691万ベクレル
- 炭素14：約21億1,631万ベクレル
- ヨウ素129：約1億1,119万ベクレル
- セシウム137：約3,283万ベクレル
- コバルト60：約3,915万ベクレル

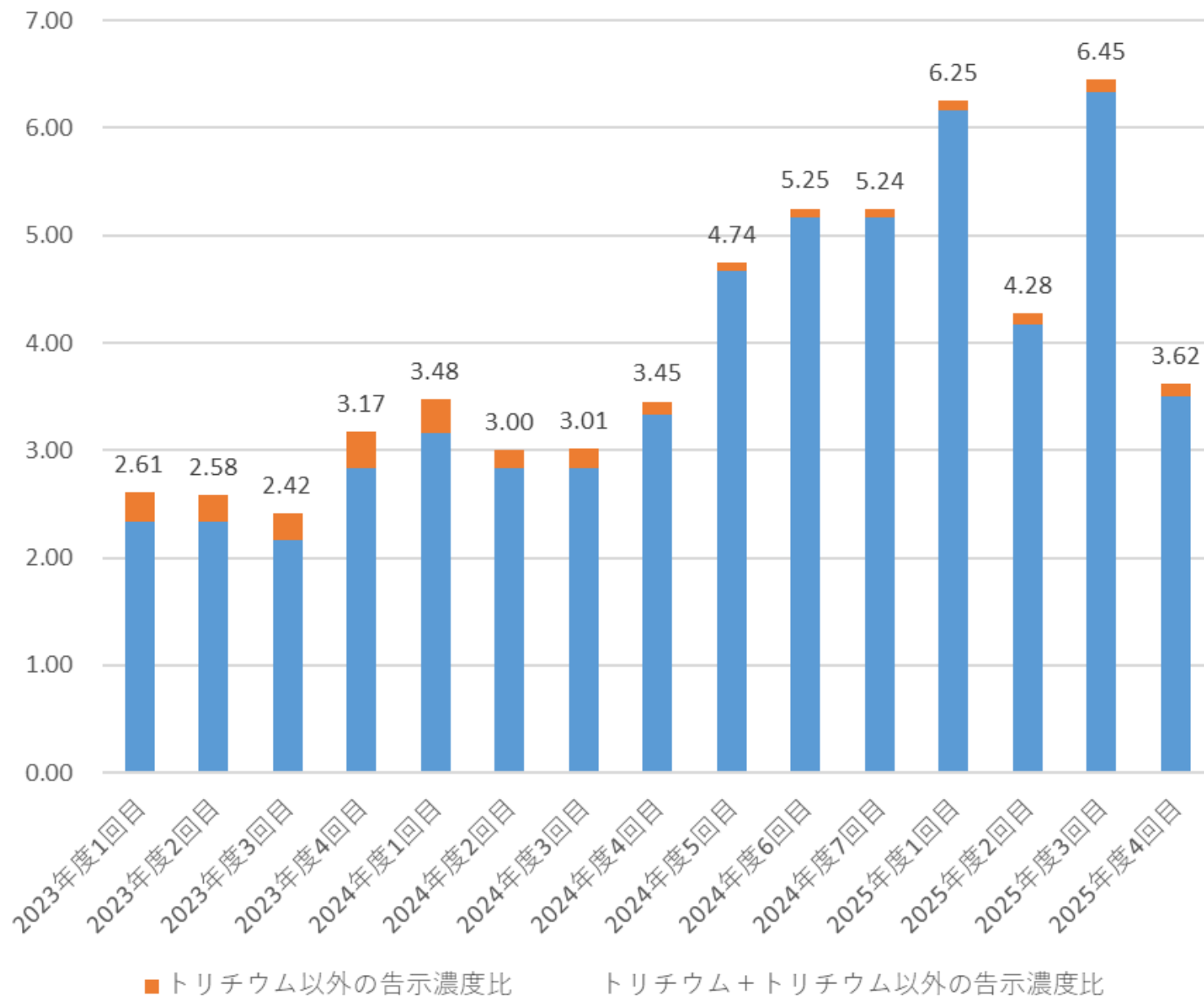
（東電発表データをもとに算出）

放出回ごとのトリチウムの告示濃度比 (希釈前)



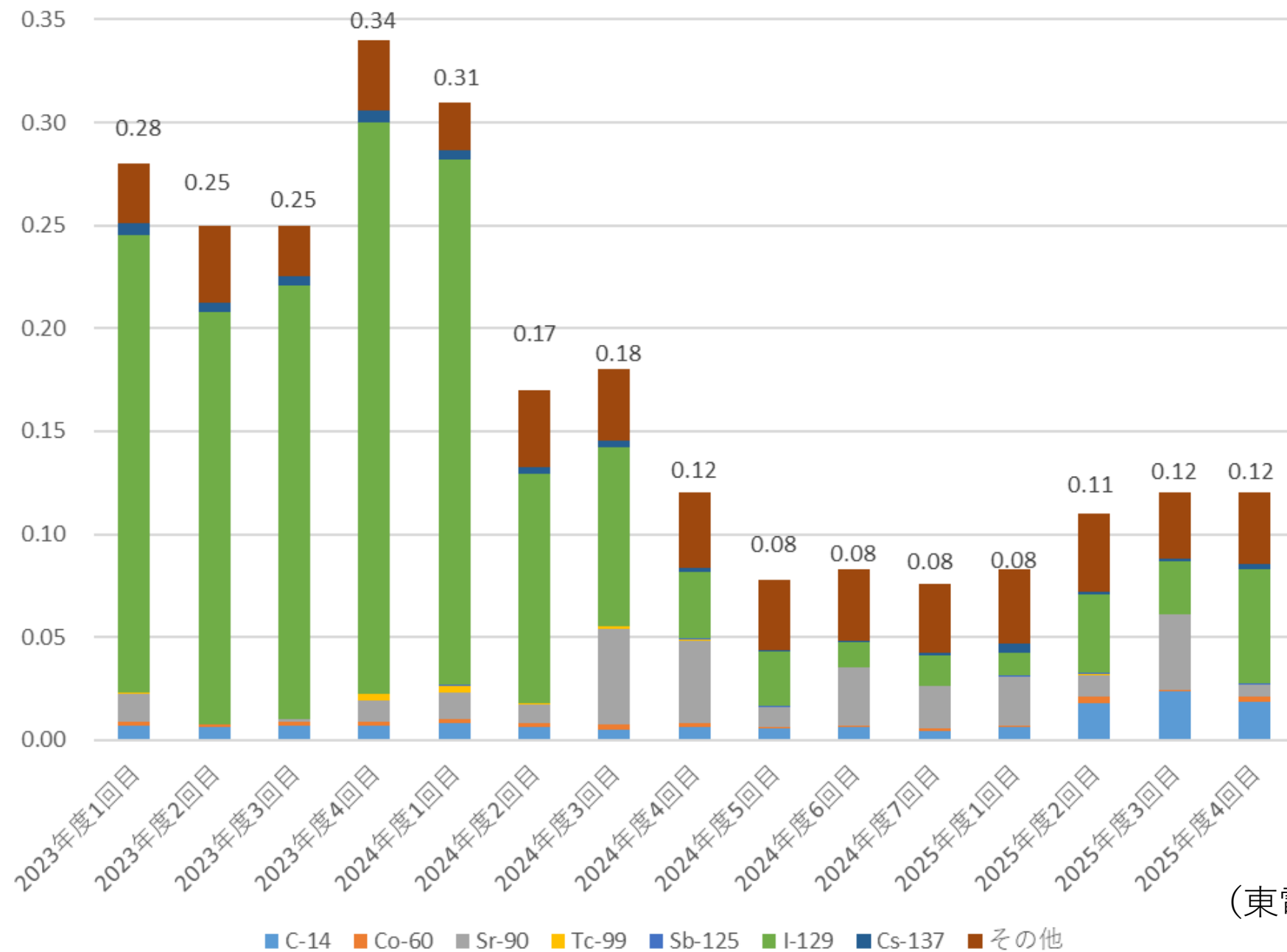
(東電発表データをもとに作成)

トリチウム＋トリチウム以外の告示濃度比（希釈前）



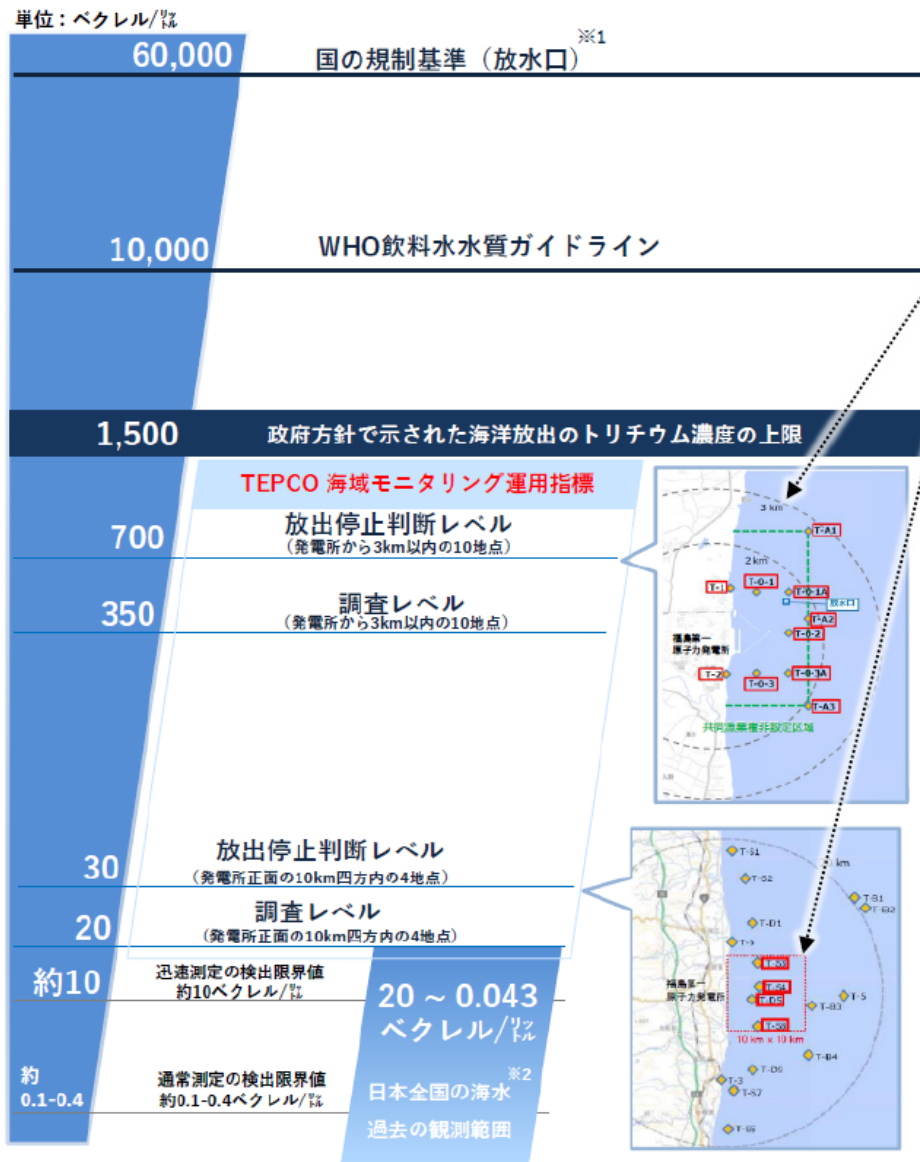
（東電発表データをもとに作成）

トリチウム以外の主要核種の告示濃度比



(東電発表データをもとに作成)

【参考】海水のトリチウム濃度の比較



- 当社の運用上の指標として、放出停止判断レベルおよび調査レベルを設定している。

	放出停止判断レベル	調査レベル
発電所から3km以内	700 Bq/L	350 Bq/L
発電所正面の10km四方内	30 Bq/L	20 Bq/L

<放出停止判断レベルを超過した場合>

海洋放出を速やかに停止

<調査レベルを超過した場合>

設備・運転状況の確認、採取頻度の強化を検討

- 指標（放出停止判断レベルおよび調査レベル）を超えた場合でも、法令基準60,000 Bq/LやWHO飲料水水質ガイドライン10,000 Bq/Lを十分下回り、周辺海域は安全な状態であると考えている。

- 今後、放出する処理水のトリチウム濃度に応じて海水濃度も影響を受け、これまでより高い分析値が検出されることも想定される。それらの場合でも、調査レベルなどの指標を下回るものと考えている。

※1：原子力施設の放水口から出る水を、毎日、その濃度で約2ℓを飲み続けた場合、一年間で1ミリシーベルトの被ばくとなる濃度から定められた基準
※2：出典「日本の環境放射能と放射線」（期間：2019/4～2022/3）

2023年度の海域モニタリング結果（海水のトリチウム濃度）

海域モニタリングにおける発電所から3km以内のトリチウム濃度は、運用上の指標（放出停止判断レベル：700ベクレル/リットル）を大きく下回る結果となっています。【運用上の各指標については  [こちら](#)】

迅速測定※結果		
回数	発電所から3km以内	発電所正面の10km四方内
1回目	最大10ベクレル/リットル	検出せず
2回目	最大22ベクレル/リットル	検出せず
3回目	最大11ベクレル/リットル	検出せず
4回目	最大16ベクレル/リットル	検出せず

※トリチウムの検出下限値を1リットルあたり10ベクレル程度とし、測定時間を短縮して迅速に結果を得る測定

2024年度の海域モニタリング結果（海水のトリチウム濃度）

海域モニタリングにおける発電所から3km以内のトリチウム濃度は、運用上の指標（放出停止判断レベル：700ベクレル/リットル）を大きく下回る結果となっています。【運用上の各指標については [こちら](#)】

迅速測定※結果		
回数	発電所から3km以内	発電所正面から10km四方内
1回目	最大29ベクレル/リットル	検出せず
2回目	最大7.7ベクレル/リットル	検出せず
3回目	最大18ベクレル/リットル	検出せず
4回目	最大9.0ベクレル/リットル	検出せず
5回目	最大33ベクレル/リットル	検出せず
6回目	最大48ベクレル/リットル	検出せず
7回目	最大56ベクレル/リットル	検出せず

※トリチウムの検出下限値を1リットルあたり10ベクレル程度とし、測定時間を短縮して迅速に結果を得る測定 東電処理水ポータルサイト

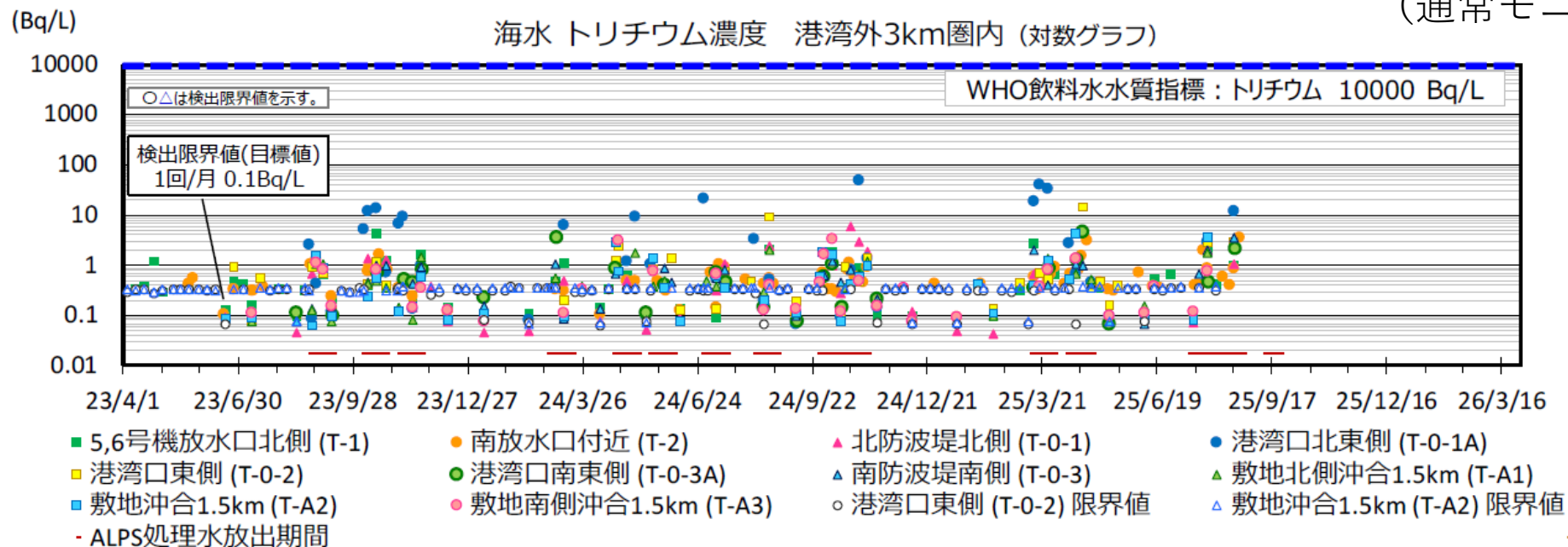
2025年度の海域モニタリング結果（海水のトリチウム濃度）

海域モニタリングにおける発電所から3km以内のトリチウム濃度は、運用上の指標（放出停止判断レベル：700ベクレル/リットル）を大きく下回る結果となっています。【運用上の各指標については  [こちら](#)】

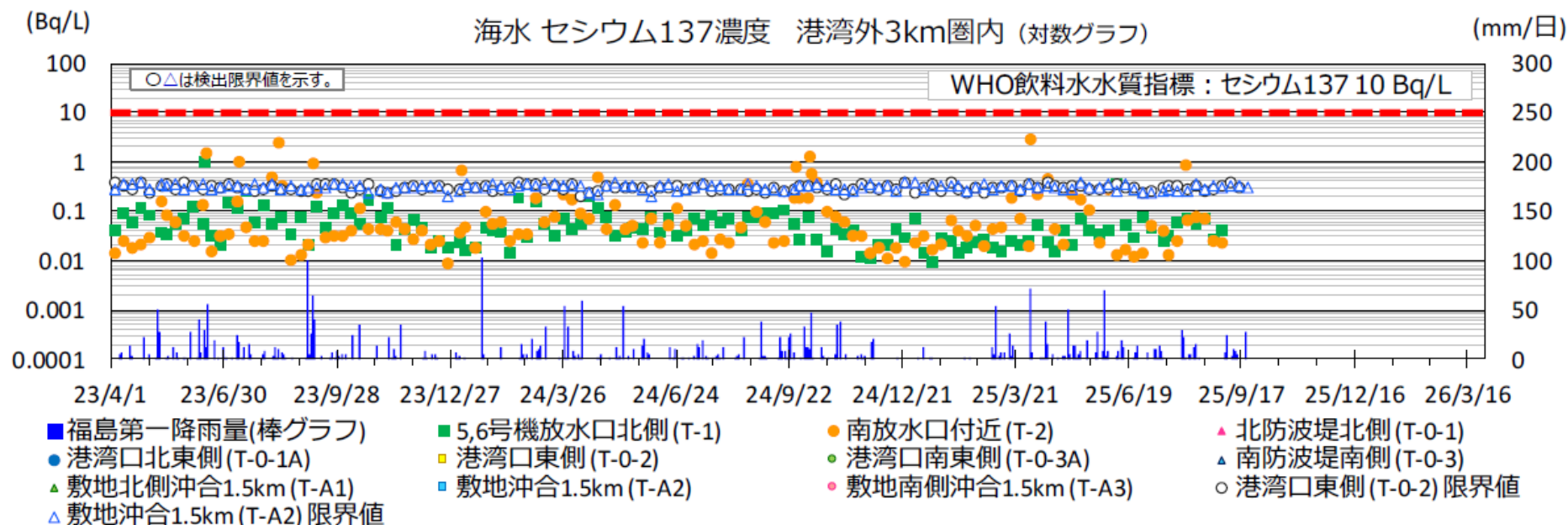
回数	迅速測定※結果	
	発電所から3km以内	発電所正面から10km四方内
1回目	最大27ベクレル/リットル	検出せず
2回目	最大31ベクレル/リットル	検出せず
3回目	最大61ベクレル/リットル	検出せず
4回目	最大23ベクレル/リットル	検出せず

※トリチウムの検出下限値を1リットルあたり10ベクレル程度とし、測定時間を短縮して迅速に結果を得る測定

(通常モニタリング)



10



東京電力「ALPS処理水海洋放出における 海域モニタリングの状況について」 (2025年9月25日)

福島県沖のトリチウム濃度レベル

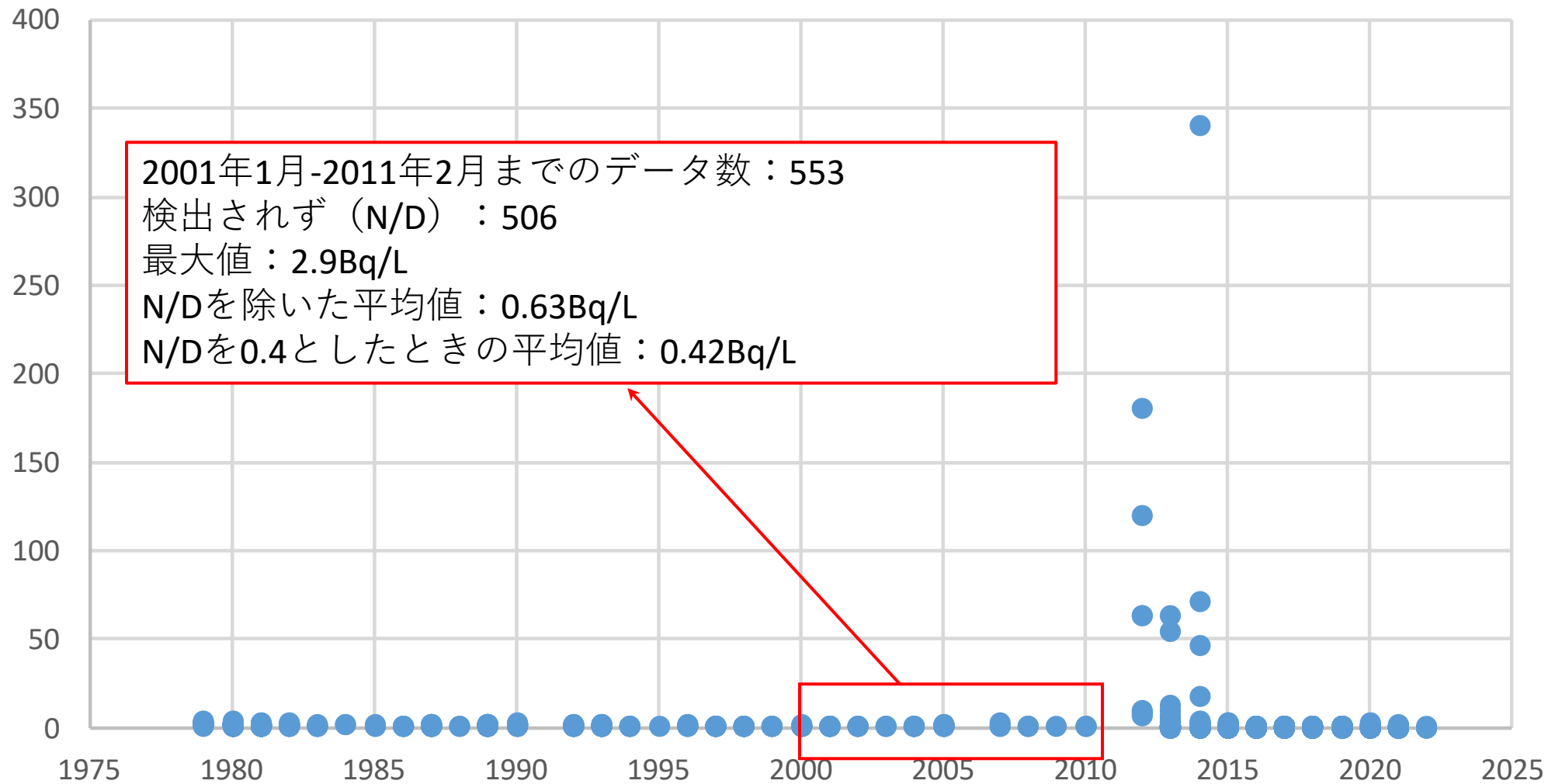
ND（検出されず）もしくは1 Bq/L以下

都道府県名	試料採取地点	試料名 (大分類)	試料名 (中分類)	試料名	試料採取開始日	核種名	放射能濃度	放射能濃度 誤差	放射能濃度 単位
福島県	双葉・大熊沖	海水	海水	海水 表面水	2009/01/14	H-3	検出されず		Bq/L
福島県	双葉・大熊沖	海水	海水	海水 表面水	2009/02/05	H-3	検出されず		Bq/L
福島県	双葉・大熊沖	海水	海水	海水 表面水	2009/05/14	H-3	検出されず		Bq/L
福島県	双葉・大熊沖	海水	海水	海水 表面水	2009/05/21	H-3	検出されず		Bq/L
福島県	双葉・大熊沖	海水	海水	海水 表面水	2009/07/21	H-3	検出されず		Bq/L
福島県	双葉・大熊沖	海水	海水	海水 表面水	2009/08/04	H-3	0.55		Bq/L
福島県	双葉・大熊沖	海水	海水	海水 表面水	2009/10/15	H-3	検出されず		Bq/L
福島県	双葉・大熊沖	海水	海水	海水 表面水	2009/11/06	H-3	検出されず		Bq/L
福島県	双葉・大熊沖	海水	海水	海水 表面水	2010/01/12	H-3	検出されず		Bq/L
福島県	双葉・大熊沖	海水	海水	海水 表面水	2010/02/03	H-3	検出されず		Bq/L
福島県	双葉・大熊沖	海水	海水	海水 表面水	2010/05/10	H-3	検出されず		Bq/L
福島県	双葉・大熊沖	海水	海水	海水 表面水	2010/05/17	H-3	0.46		Bq/L
福島県	双葉・大熊沖	海水	海水	海水 表面水	2010/07/22	H-3	検出されず		Bq/L

「日本の環境放射能と放射線」サイトデータベースからの抜粋 <https://www.kankyo-hoshano.go.jp/>

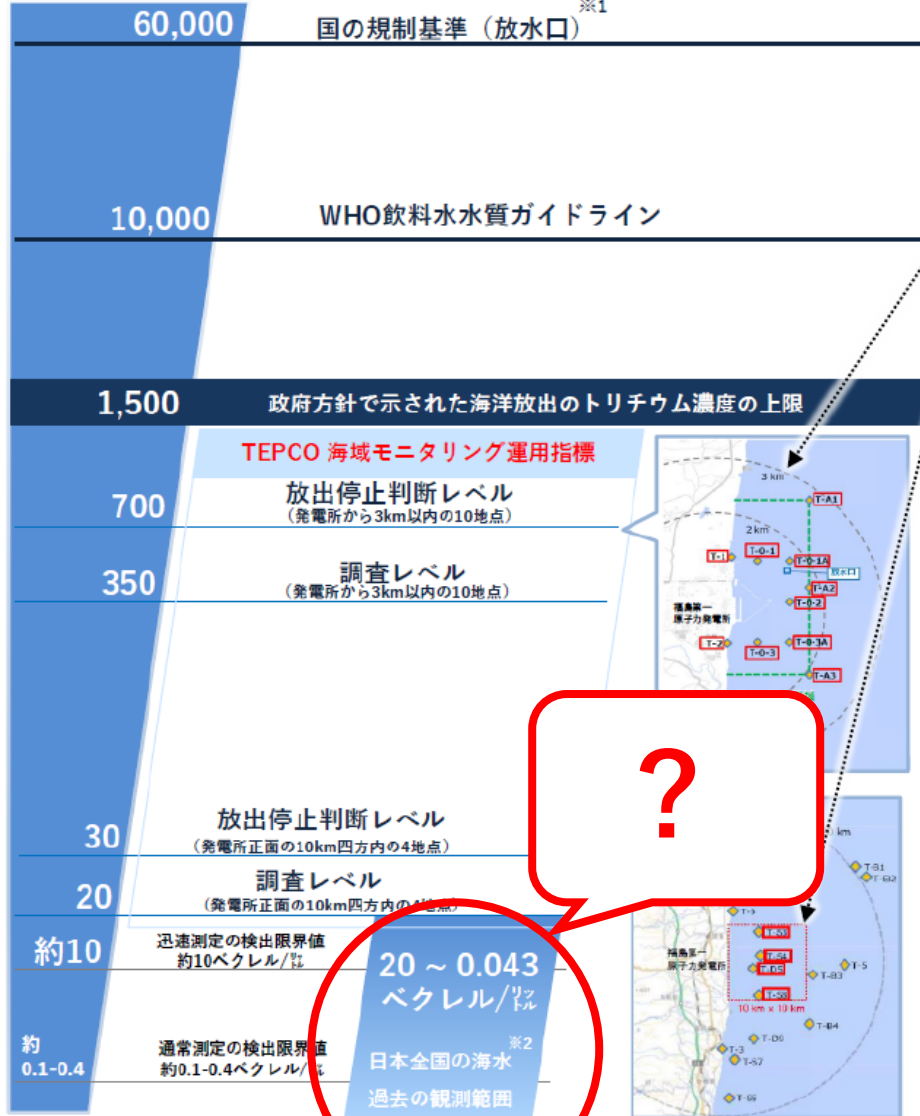
福島県沖トリチウム濃度 (Bq/L)

Bq/L



【参考】海水のトリチウム濃度の比較

単位：ベクレル/ℓ



- 当社の運用上の指標として、放出停止判断レベルおよび調査レベルを設定している。

	放出停止判断レベル	調査レベル
発電所から3km以内	700 Bq/L	350 Bq/L
発電所正面の10km四方内	30 Bq/L	20 Bq/L

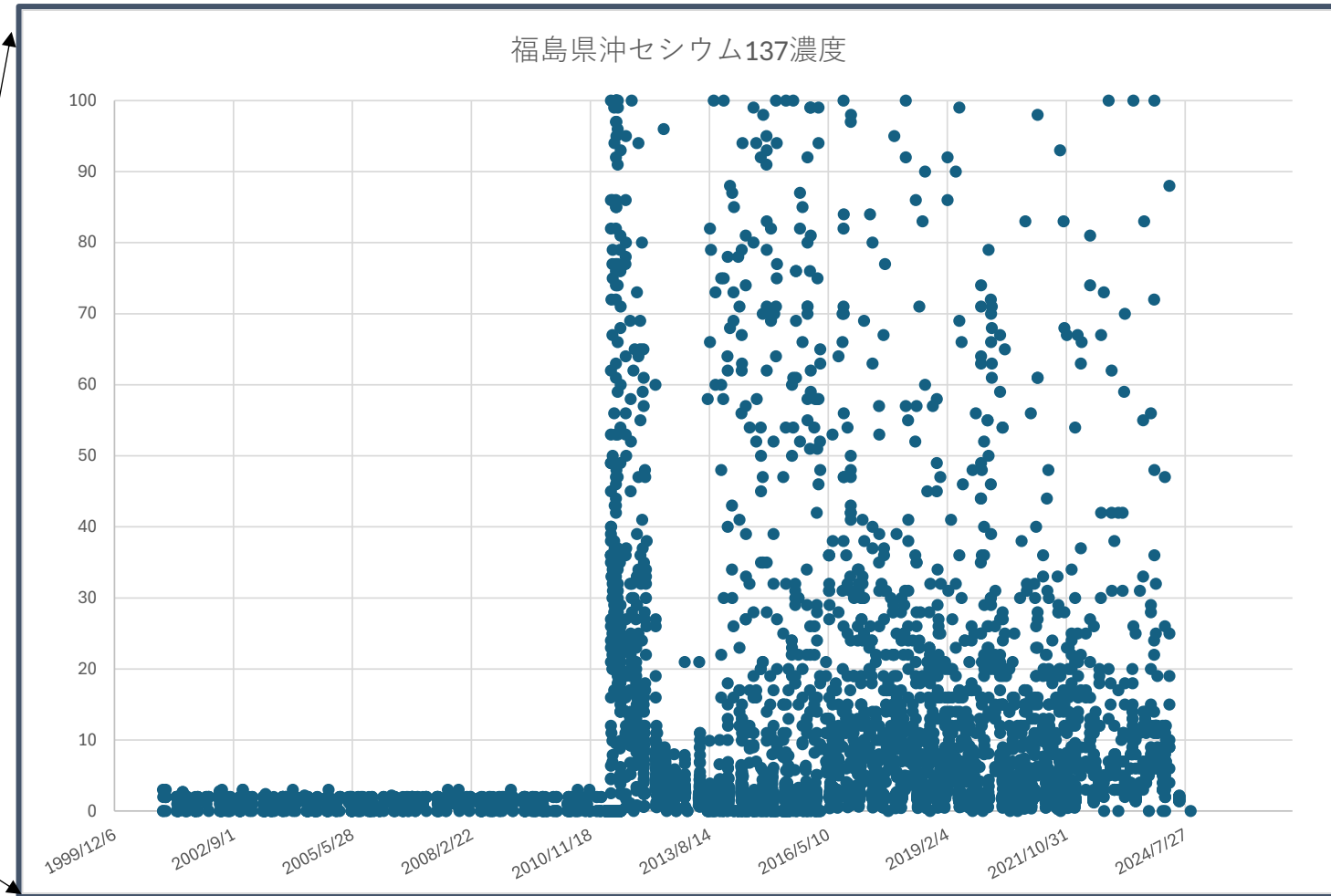
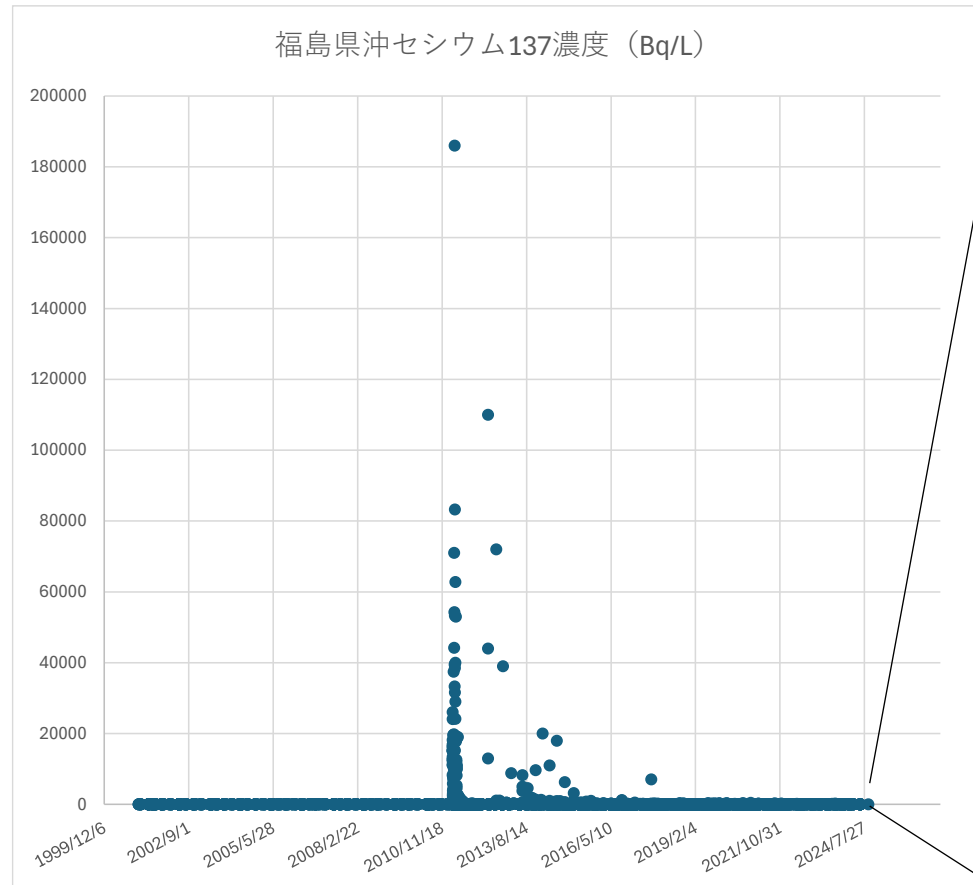
<放出停止判断レベルを超過した場合>
海洋放出を速やかに停止

<調査レベルを超過した場合>
設備・運転状況の確認、採取頻度の強化を検討

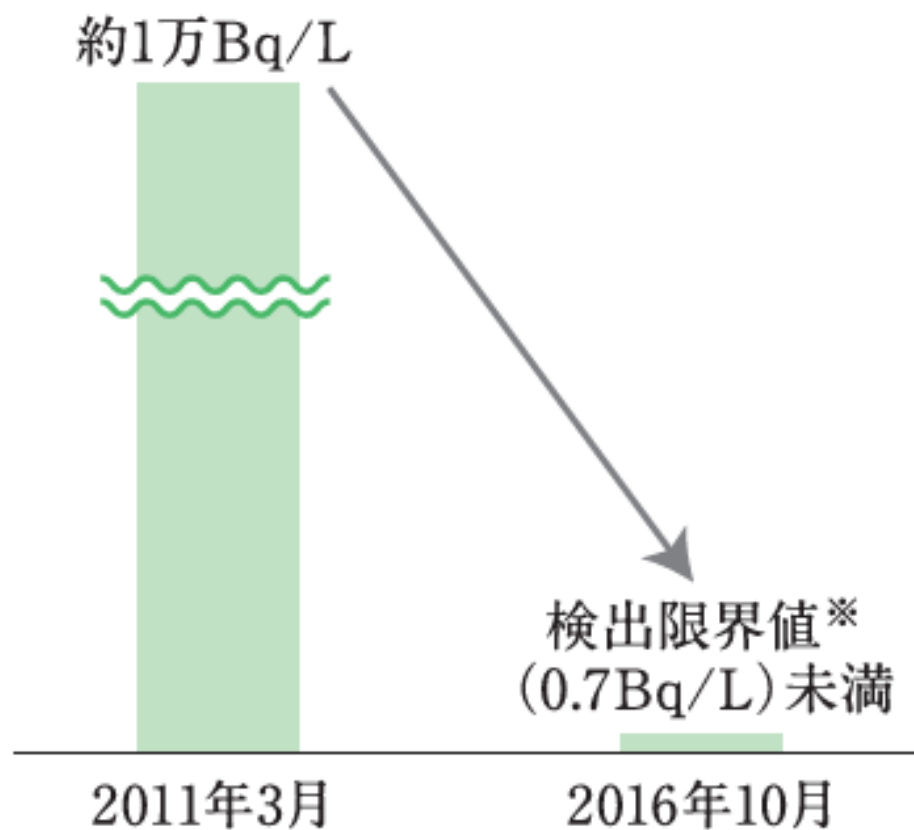
- 指標（放出停止判断レベルおよび調査レベル）を超えた場合でも、法令基準60,000 Bq/LやWHO飲料水水質ガイドライン10,000 Bq/Lを十分下回り、周辺海域は安全な状態であると考えている。
- 今後、放出する処理水のトリチウム濃度に応じて海水濃度も影響を受け、これまでより高い分析値が検出されることも想定される。それらの場合でも、調査レベルなどの指標を下回るものと考えている。

※1：原子力施設の放水口から出る水を、毎日、その濃度で約1ℓを飲み続けた場合、一年間で1ミリシーベルトの被ばくとなる濃度から定められた基準
※2：出典『日本の環境放射能と放射線』（期間：2019/4～2020/3）

福島沖セシウム137濃度



周辺海域の放射性物質濃度



こういう切り取り方って？

資源エネルギー庁「廃炉の大切な話
福島第一原子力発電所の今とこれから
2017」 p.16

※周辺海域の放射性物質濃度は、南放水口付近のセシウム137値(10/25-10/31)

復興のため？廃炉のため？

「敷地が足りない」→燃料デブリ取り出しが前提
(一次保管場所として、約81,000m²を確保)

燃料デブリ＝燃料棒が溶け落ちて、その他の構造物と固まったもの

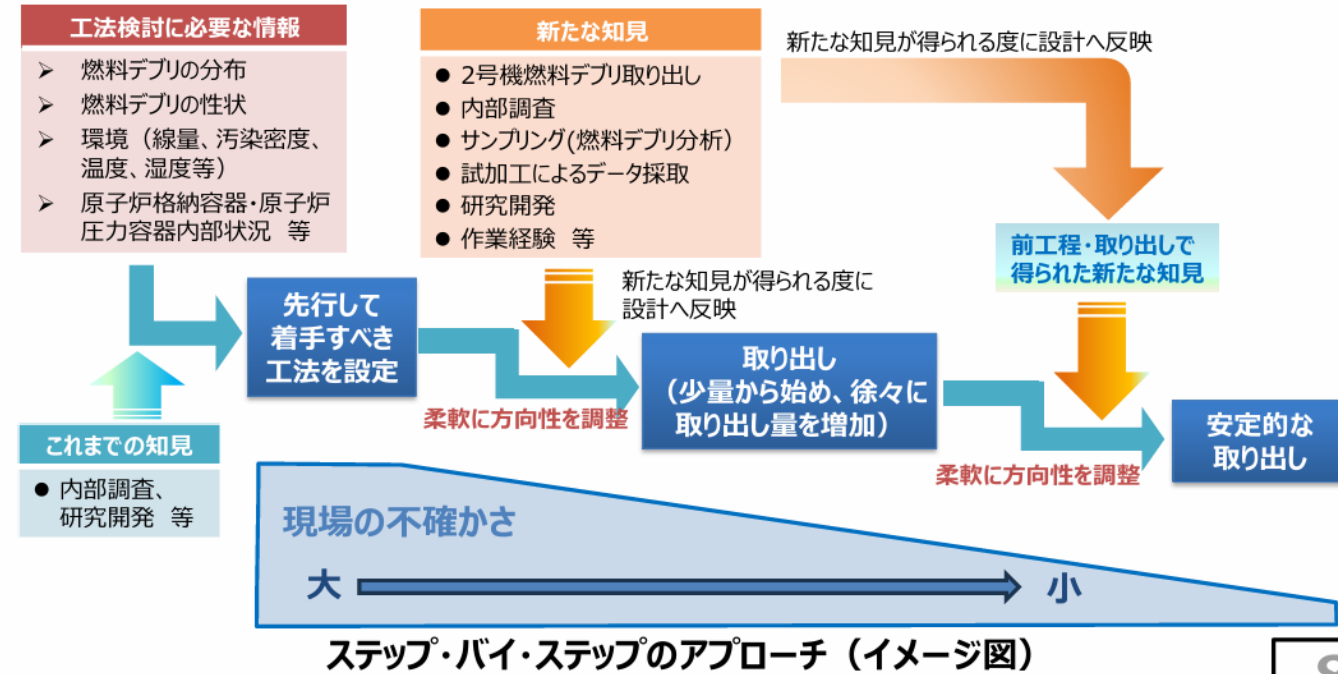
デブリは本当に取り出せるの？
デブリを取り出せたとしても、その先はどうするの？
どこに持っていくの？



決まっていません！

デブリ試験本格取り出し開始 「2030年代初め⇒2037年以降」に

- 2号機で微量の試験取り出し
(2024年11月、25年4月、計0.9グラム)
- デブリは1～3号機で推計880トン堆積。本格的な取り出しは、原子炉建屋内の使用済み核燃料が取り外されていることや、建屋の損傷具合などから3号機で先行させる。
- 気中工法？
- 「いずれの工法であっても、原子炉内部の状況の把握に努めながら、その設計や安全確保に順次反映していく」



従来の中長期ロードマップはすでに逸脱

中長期ロードマップの期間区分

2024年9月

2011年12月

2013年11月

2021年12月～

30～
40年後

安定化に向けた取り組み
(ステップ1,2完了)

第1期 (完了)

第2期

第3期

- 冷温停止状態の達成
- 放射性物質放出の大幅な抑制

使用済燃料プール内の
燃料取り出し開始までの
期間

目標：ステップ2完了から
2年以内

燃料デブリ取り出しが
開始されるまでの期間

目標：ステップ2完了から10年
以内

- ・ 号機ごとの燃料デブリ取り出し方針の決定 (2017年9月)
- ・ 初号機の燃料デブリ取り出し方法の確定 (2019年度)
- ・ 初号機の燃料デブリ取り出しの開始 (2021年内)

廃炉完了までの
期間

目標：ステップ2完了から30年～40年後

現在

- 2024年9月の2号機の「デブリ試験取り出し開始」を「燃料デブリ取り出し開始」とみなし、第3期に移行したことにした
- 「試験取り出し開始」と「燃料デブリ取り出し開始」はまったく異なる。
- 初号機の燃料デブリの取り出し方法の確定など、「第2期」で行うとしていたことは行われていない
- 「使用済み燃料取り出し開始」を第2期の開始時期としていたが、1, 2号機では使用済み燃料取り出しには着手できていないにもかかわらず、第2期は終了したことにしてしまった。

資源エネルギー庁サイト「福島第一原発廃炉に向けたロードマップ：燃料デブリ取り出しの今」 (2017/10/24)

燃料デブリ取り出し

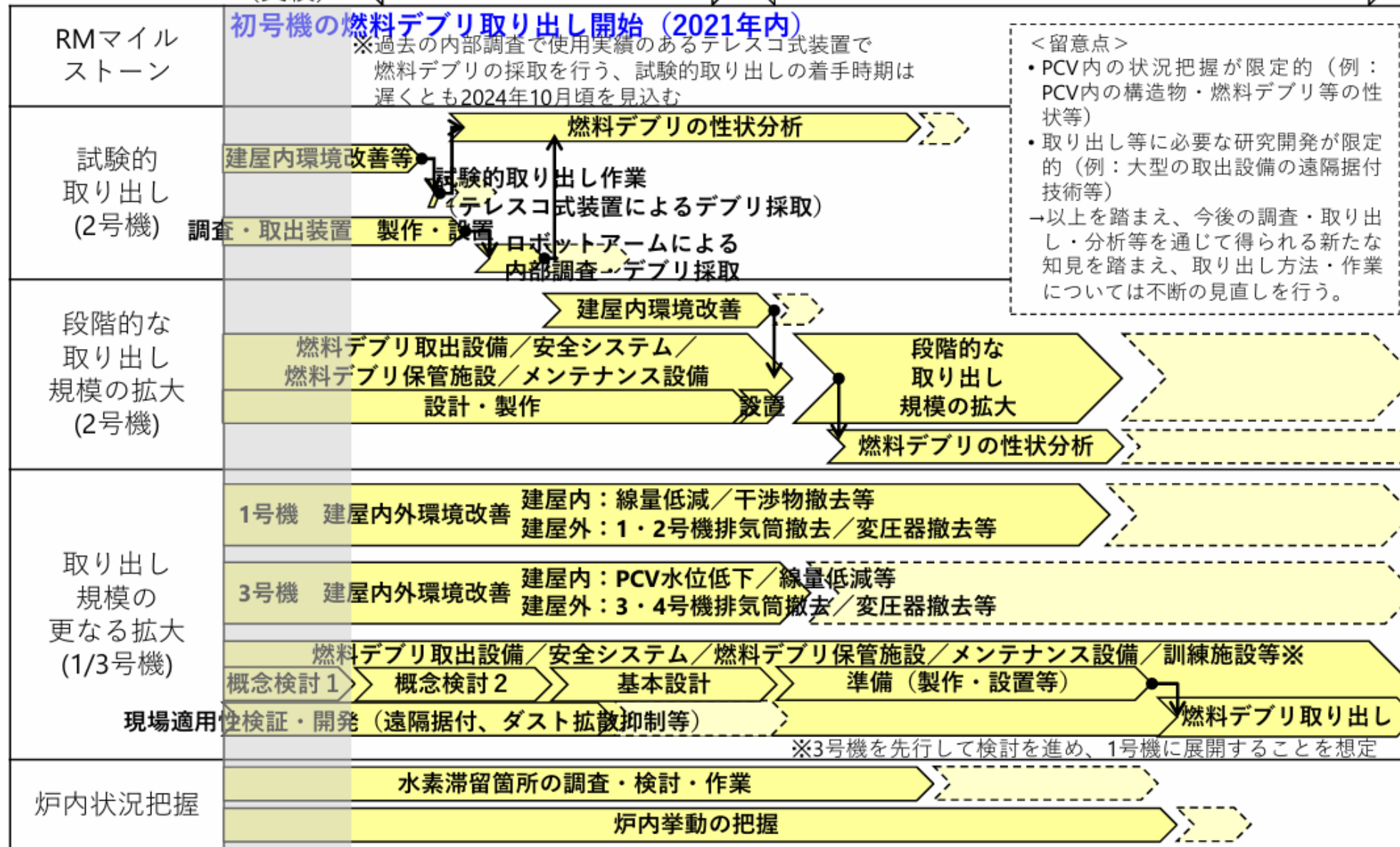
－今後の主要な作業プロセス (5/5)

2023年度
(実績)

短期 (至近3年)

中長期 (2027～2035年度)

東京電力「廃炉中長期
実行プラン2024」 2024
年3月28日



当初の中長期ロードマップ (2011年12月21日) では、燃料デブリの取り出し終了時期を20-25年後 (2031-36年) としていた

「風評被害」という言論封じ

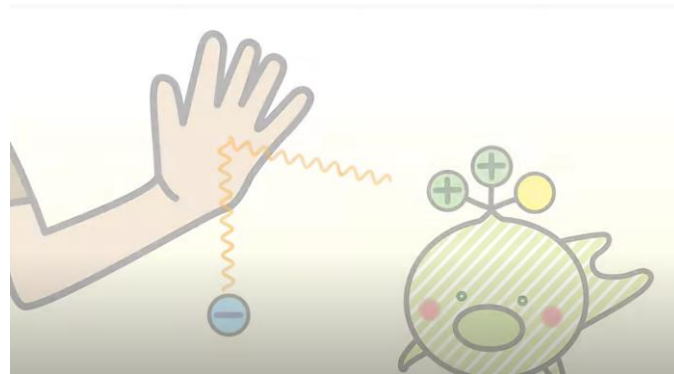
アルプス ALPS処理水について 知ってほしい3つのこと

誤った情報に惑わされないために。

誤った情報を広めて苦しむ人を出さないために。

- 本当の加害者は？→東電と国
- 「危険性を指摘する人」を「風評を起こす人」「誤った情報をまきちらす人」とレッテル貼り

2 トリチウムの健康への影響
は心配ありません



政府による広報より